

福祉社会開発研究科 社会福祉学専攻 博士課程

学生募集要項

【2025 年度】



日本福祉大学 大学院

目 次

1. 入学試験概要	1
2. 一般入学試験	2
3. 社会人入学試験	5
4. 外国人留学生入学試験	8
5. 研究テーマ名及び指導教員について . .	11
6. 合格発表・入学手続について	14

※出願書類は、本学 HP「日本福祉大学大学院 福祉社会開発研究科
社会福祉学専攻博士課程 入試情報」に掲載しております。
ダウンロードしてご利用ください。

◆出願書類（別紙）

- 1) 入学志願票
- 2) 志願理由書 ※一般入試の場合のみ提出が必要
- 3) 研究計画書 [3 枚]
- 4) 研究業績書（「研究業績書記入上の注意」）
- 5) 受験票/副票
- 6) 在職期間証明書 ※社会人入試の場合のみ提出が必要
- 7) 日本語能力証明書 ※外国人留学生入試の場合のみ提出が必要

* 出願用封筒宛先用紙（出願書類発送時にお使いください）

【入学試験概要】

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

社会福祉学専攻 博士課程は、社会福祉に関連する分野における基礎的な研究能力を身につけており、さらに社会福祉分野における専門研究者としての研究力、指導力を身につけたい人を受け入れます。

II. 募集定員

専攻	課程	修業年限	募集定員
社会福祉学専攻	博士課程	3年	8名 ^{*1}

^{*1}: すべての入試区分の合計。

III. 試験の種類

1. 一般入学試験
2. 社会人入学試験
3. 外国人留学生入学試験

IV. 試験日程

出願期間	2025年1月10日(金)～1月24日(金)※最終日消印有効
試験日	2025年2月8日(土)
合格発表日	2025年2月15日(土)
手続期間	2025年2月17日(月)～2月28日(金)※最終日消印有効

V. 試験会場



日本福祉大学 名古屋キャンパス 北館

〒460-0012

名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL (052)242-3050

FAX (052)242-3072

■ JR中央線「鶴舞」下車
公園口より北へ 徒歩約2分

■ 地下鉄鶴舞線「鶴舞」下車
2番出口より北へ 徒歩約2分

【一般入学試験】

I. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者、または 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。
- (7) 本大学院が、個別の入学資格審査により、修士の学位や専門職学位を有する者と同等の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日時点で 24 歳に達する者。

※ 出願資格(6)(7)による出願を希望する場合は、必ず名古屋事務室に事前照会してください。

II. 出願書類＜最終日消印有効＞

以下の書類を一括して、市販の角形 2 号封筒を使用し「簡易書留」または「レターパック」にて送付すること。

※出願書類は、本学 HP「日本福祉大学大学院 福祉社会開発研究科社会福祉学専攻博士課程 入試情報」に掲載しております。ダウンロードしてご利用ください。

※別紙「出願用封筒宛先用紙」を使用することをお勧めします。（締切日当日消印有効）

(1) 入学志願票 [本学所定様式]	本学所定用紙に必要事項を記入し、写真を貼付したもの。 ※ 希望する指導教員名と研究テーマ名は、11 頁をよく読んで選択・記入すること。 ※ 学歴欄は、高等学校から最終学歴までを順に記入すること。 ※ 学位・資格・免許等欄の学位は修士以上を記入すること。
(2) 博士前期(修士)課程 成績証明書 [出身大学院等所定]	出身大学院等が発行したもの。 ※ 博士前期(修士)課程を修了見込の者は、出願時点に発行されるもの。 ※ 博士前期(修士)課程を修了していない者については最終学歴のもの。 ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(3) 博士前期(修士)課程 修了(見込)証明書 [出身大学院等所定]	出身大学院等が発行したもの。 ※ 博士前期(修士)課程を修了していない者については最終学歴のもの。 ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(4) 志願理由書 [本学所定様式]	志願理由について 800 字程度で記述すること。 原則として文書作成ソフト（Word 等）を使用する。 同様式を文書作成ソフト（Word 等）で作成し、記載してもよい。（片面印刷）
(5) 研究計画書 [本学所定様式]	研究計画の概要は 4,000 字程度で記述すること。原則として文書作成ソフト（Word 等）を使用し、A4 判 3 枚以内にまとめること。同様式を文書作成ソフト（Word 等）等で作成し、記載してもよい。（片面印刷） <u>※出願に際しては、事前に希望する指導教員の承諾を必要とします。必ず研究計画書の該当欄に、希望する指導教員の署名・捺印を受けてから出願すること。</u>

(6) 修士論文、または それに代わるもの 1部	修士論文、またはそれに代わる論文・著書等を1部提出すること。 写し（コピー）でも可。（片面印刷） ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(7) 上記(6)の論文等の 要旨 1部	論文等の要旨は、原則としてA4判で2,000字程度とし、1部提出する。 ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文等の要旨は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。（片面印刷）
(8) 研究業績書 [本学所定様式]	社会における諸活動、著書・論文・学会発表等の研究業績について記載すること。（片面印刷） 同様式を文書作成ソフト（Word等）で作成し、記載してもよい。参考として論文等を添付してもよい。特に記入する事項がない場合は、提出の必要はありません。
(9) 受験票送付のための 返信用封筒	長型3号(12cm×23.5cm)封筒に、送付先の郵便番号・住所・氏名、「簡易書留」と記入した上、460円分の切手を貼り付けて提出すること。
(10) 受験票および副票 [本学所定様式]	副票には写真を貼付すること。また、副票の裏面には「郵便振替払込金受領書」のコピーを貼付すること。（「Ⅲ．入学検定料」を参照）

(出願上の注意)

1. 出願に際しては、事前に希望する指導教員の承諾を必要とします。研究計画書に希望する指導教員の署名・捺印を受けてから出願すること。
2. 出願書類等に不備のある場合は受け付けないので、必要事項に記入もれがないよう、十分に書類を確認してから出願すること。
3. 改姓等により、各種出願書類間で姓名が異なる場合は、戸籍抄本等の姓名変更に係る証明書を添付すること。
4. 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても許可を取り消すことがある。
5. 2025年3月末時点において、出願時の資格要件を満たしていない者は、本試験に合格していても入学を許可しないことがある。
6. 一旦受理した出願書類は、修了証明書等の原本を除き、原則として返還しない。
7. 出願書類(1)～(10)の他に、適宜必要書類の提出を求めることがある。

Ⅲ. 入学検定料 35,000 円

- (1) 入学検定料は、郵便振替(郵便局備え付けの用紙使用)とすること。

口座番号: 00860-8-017408 加入者名: (学)日本福祉大学

※ 通信欄には、「大学院福祉社会開発研究科社会福祉学専攻入学検定料」と明記すること。

※ 一旦受理した入学検定料は、原則として返還しない。

- (2) 「郵便振替払込金受領書」のコピーを受験票・副票の裏面に貼付すること。

- (3) 「郵便振替払込金受領書」をもって本学の領収書とかわるので大切に保管すること。

IV. 試験科目・時間割

(1) 試験科目：論文、口述試験

(2) 試験日程・時間割：

日 程	時 間	試験科目
2025 年 2 月 8 日(土)	10 : 00～12 : 00	論 文
	13 : 00～15 : 00	口述試験

(3) 選抜方法：選考は、出願書類(10 点)、論文(20 点)、口述試験(30 点)を総合しておこないます。

◆障がいのある入学志願者との事前相談について

本学大学院に入学を志願される方で、障がい有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性がある方は、出願前に必ず名古屋事務室に相談してください。

なお、この相談が、合否判定に影響することは一切関係ありません。

相談の時期：出願締切の 1 ヶ月前

連 絡 先：日本福祉大学 名古屋事務室

E-mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

V. その他（個人情報の取り扱い）

出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。取得した個人情報は、日本福祉大学個人情報の保護ポリシーに基づき適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

VI. 出願手続・願書送付先

入学検定料 35,000 円を納入のうえ、市販の角形 2 号封筒（入りきらない場合は、別の封筒に一括封入）を使用して出願書類を一括封入し、「出願書類在中」と朱書きして、必ず「簡易書留」郵便にて送付すること（**締切日当日消印有効**）。

※別紙「出願用封筒宛先用紙」を使用することをお勧めします。

尚、窓口での出願受付はできません。

日本福祉大学 名古屋事務室 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL (052) 242-3050 FAX (052) 242-3072 E-mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

【社会人入学試験】

I. 出願資格

次のA・B・Cのすべての条件を満たす者。

A. 以下のいずれかに該当すること。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者、または2025年3月までに授与される見込みの者。
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2024年3月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者。
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者。
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者。
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。

B. 公刊された研究論文(調査報告・実践研究を含む)を2点以上有する者。

C. 入学時に通算3年以上の就業経験があり、現在①～③のいずれかに従事している者。
または現在は従事していなくても①～③のいずれかに通算5年以上従事した経験がある者。

- ① 社会福祉施設・機関、保健医療施設・機関
- ② 福祉教育、障がい児・者教育機関
- ③ その他本大学院が認める社会福祉に関連した業務

※ ③の該当として受験を希望する方は、必ず出願期間前に名古屋事務室に照会してください。

II. 出願書類<最終日消印有効>

以下の書類を一括して、市販の角形2号封筒を使用し「簡易書留」または「レターパック」にて送付すること。

※出願書類は、本学 HP「日本福祉大学大学院 福祉社会開発研究科社会福祉学専攻博士課程 入試情報」に掲載しております。ダウンロードしてご利用ください。

※別紙「出願用封筒宛先用紙」を使用することをお勧めします。(締切日当日消印有効)

(1) 入学志願票 [本学所定様式]	本学所定用紙に必要事項を記入し、写真を貼付したもの。 ※ 希望する指導教員名と研究テーマ名は、11頁をよく読んで選択・記入すること。 ※ 学歴欄は、高等学校から最終学歴までを順に記入すること。 ※ 学位・資格・免許等欄の学位は修士以上を記入すること。
(2) 博士前期(修士)課程 成績証明書 [出身大学院等所定]	出身大学院等が発行したもの。 ※ 博士前期(修士)課程を修了見込の者は、出願時点に発行されるもの。 ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(3) 博士前期(修士)課程 修了(見込)証明書 [出身大学院等所定]	出身大学院等が発行したもの。 ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。

(4) 研究計画書 [本学所定様式]	研究計画の概要は 4,000 字程度で記述すること。原則としてパソコンのワードソフト等を使用し、A 4 判 3 枚以内にまとめること。同様式をパソコンのワードソフト等で作成し、記載してもよい。(片面印刷) <u>※出願に際しては、事前に希望する指導教員の承諾を必要とします。必ず研究計画書の該当欄に、希望する指導教員の署名・捺印を受けてから出願すること。</u>
(5) 修士論文、または それに代わるもの 1 部	修士論文、またはそれに代わる論文・著書等を 1 部提出すること。 写し(コピー)でも可。(片面印刷) ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(6) 上記(5)の論文等の 要旨 1 部	論文等の要旨は、原則として A 4 判で 2,000 字程度とし、1 部提出する。 ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文等の要旨は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。(片面印刷)
(7) 研究業績書 [本学所定様式]	社会における諸活動、著書・論文・学会発表等の研究業績について記載すること。 同様式をパソコンのワードソフト等で作成し記載してもよい。参考として論文等を添付してもよい。(片面印刷) I. 出願資格 B. 「公刊された研究論文」については必ず記載し、タイトルにアンダーラインをひくこと。
(8) 研究業績の原本または 写し 2 点以上 5 点以内	I. 出願資格 B. 「公刊された研究論文」は必ず含めること。 ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(9) 在職期間証明書 [本学所定様式]	I. 出願資格 C を証明する在職期間証明書。 主な職歴について、所属長等が証明し、職務内容、及び在職期間が明記されたもの。必要事項が明記されている場合は、機関・施設等が発行するものでも可とする。 ※日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(10) 受験票送付のための 返信用封筒	長型 3 号(12cm×23.5cm)封筒に、送付先の郵便番号・住所・氏名、「簡易書留」と記入した上、460 円分の切手を貼り付けて提出すること。
(11) 受験票および副票 [本学所定様式]	副票には写真を貼付すること。また、副票の裏面には「郵便振替払込金受領書」のコピーを貼付すること。(「Ⅲ. 入学検定料」を参照)

(出願上の注意)

1. 出願に際しては、事前に希望する指導教員の承諾を必要とします。研究計画書に希望する指導教員の署名・捺印を受けてから出願すること。
2. 出願書類等に不備のある場合は受け付けないので、必要事項に記入もれがないよう、十分に書類を確認してから出願すること。
3. 改姓等により、各種出願書類間で姓名が異なる場合は、戸籍抄本等の姓名変更に係る証明書を添付すること。
4. 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても許可を取り消すことがある。
5. 2025 年 3 月末時点において、出願時の資格要件を満たしていない者は、本試験に合格していても入学を許可しないことがある。
6. 一旦受理した出願書類は、修了証明書等の原本を除き、原則として返還しない。
7. 出願書類(1)～(11)の他に、適宜必要書類の提出を求めることがある。

Ⅲ. 入学検定料 35,000 円

(1) 入学検定料は、郵便振替(郵便局備え付けの用紙使用)とすること。

口座番号: 00860-8-017408 加入者名: (学)日本福祉大学

※ 通信欄には、「大学院福祉社会開発研究科社会福祉学専攻入学検定料」と明記すること。

※ 一旦受理した入学検定料は、原則として返還しない。

(2) 「郵便振替払込金受領書」のコピーを受験票・副票の裏面に貼付すること。

(3) 「郵便振替払込金受領書」をもって本学の領収書とかわるので大切に保管すること。

Ⅳ. 試験科目・時間割

(1) 試験科目: 論文、口述試験

(2) 試験日程・時間割:

日 程	時 間	試験科目
2025 年 2 月 8 日(土)	10:00～12:00	論 文
	13:00～15:00	口述試験

(3) 選抜方法: 選考は、出願書類(20 点)、論文(20 点)、口述試験 (20 点)を総合しておこないます。

◆障がいのある入学志願者との事前相談について

本学大学院に入学を志願される方で、障がい等を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性がある方は、出願前に必ず名古屋事務室に相談してください。

なお、この相談が、合否判定に影響することは一切関係ありません。

相談の時期: 出願締切の 1 ヶ月前

連 絡 先: 日本福祉大学 名古屋事務室

TEL (052) 242-3050 FAX (052) 242-3072

E-mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

Ⅴ. その他 (個人情報の取り扱い)

出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。

取得した個人情報は、日本福祉大学個人情報の保護ポリシーに基づき適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

Ⅵ. 出願手続・願書送付先

入学検定料 35,000 円を納入のうえ、市販の角形 2 号封筒 (入りきらない場合は、別の封筒に一括封入) を使用して出願書類を一括封入し、「出願書類在中」と朱書きして、必ず「簡易書留」郵便にて送付すること (締切日当日消印有効)。

※別紙「出願用封筒宛先用紙」を使用することをお勧めします。

尚、窓口での出願受付はできません。

日本福祉大学 名古屋事務室 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL (052) 242-3050 FAX (052) 242-3072 E-mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

【外国人留学生入学試験】

I. 出願資格

入学後、法に定める「留学」の在留資格を取得、またはこれに変更できる者で、以下の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者、または 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。
- (7) 本大学院が、個別の入学資格審査により、修士の学位や専門職学位を有する者と同等の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日時点で 24 歳に達する者。

※出願資格(6)(7)による出願を希望する場合は、必ず名古屋事務室に事前照会してください。

II. 出願書類<最終日消印有効>

以下の書類を一括して、市販の角形 2 号封筒を使用し「簡易書留」または「レターパック」にて送付すること。

※出願書類は、本学 HP「日本福祉大学大学院 福祉社会開発研究科社会福祉学専攻博士課程 入試情報」に掲載しております。ダウンロードしてご利用ください。

※別紙「出願用封筒宛先用紙」を使用することをお勧めします。（締切日当日消印有効）

(1) 入学志願票 [本学所定様式]	本学所定用紙に必要な事項を記入し、写真を貼付したもの。 ※ 希望する指導教員名と研究テーマ名は、11 頁をよく読んで選択・記入すること。 ※ 学歴欄は、高等学校から最終学歴までを順に記入すること。 ※ 学位・資格・免許等欄の学位は修士以上を記入すること。
(2) 博士前期(修士)課程 成績証明書 [出身大学院等所定]	出身大学院等が発行したもの。 ※ 博士前期（修士）課程を修了見込の者は、出願時点に発行されるもの。 ※ 博士前期（修士）課程を修了していない者については最終学歴のもの。 ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(3) 博士前期(修士)課程 修了(見込)証明書 [出身大学院等所定]	出身大学院等が発行したもの。 ※ 博士前期（修士）課程を修了していない者については最終学歴のもの。 ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(4) 学位取得(見込)証明書 ※該当者のみ [出身大学等所定]	出身大学等が発行したもの。 海外の学部・大学院を卒業・修了した者で、 <u>上記(3)の修了(見込)証明書に学位取得(見込)について、記載されていない場合にのみ提出が必要。</u> ※ 日本語又は英語以外の言語で記載された証明書については、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。

(5) 研究計画書 [本学所定様式]	研究計画の概要は 4,000 字程度で記述すること。原則としてパソコンのワードソフト等を使用し、A 4 判 3 枚以内にまとめること。同様式をパソコンのワードソフト等で作成し、記載してもよい。(片面印刷) <u>※出願に際しては、事前に希望する指導教員の承諾を必要とします。必ず研究計画書の該当欄に、希望する指導教員の署名・捺印を受けてから出願すること。</u>
(6) 修士論文、またはそれに代わるもの 1 部	修士論文、またはそれに代わる論文・著書等を 1 部提出すること。写し(コピー)でも可。(片面印刷) ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。
(7) 上記(6)の論文等の 要旨 1 部	論文等の要旨は、原則として A 4 判で 2,000 字程度とし、1 部提出する。 ※日本語又は英語以外の言語で記載された論文等の要旨は、必ず日本語又は英語の翻訳と併せて提出すること。(片面印刷)
(8) 研究業績書 [本学所定様式]	社会における諸活動、著書・論文・学会発表等の研究業績について記載すること。同様式をパソコンのワードソフト等で作成し、記載してもよい。参考として論文等を添付してもよい。(片面印刷) 特に記入する事項がない場合は、提出の必要はありません。
(9) 在留カードのコピー	表面・裏面をコピーして提出してください。
(10) パスポートのコピー	写真のページのカラーコピーを提出してください。
(11) 日本語能力証明書	日本語能力試験 N 1 の「認定結果および成績に関する証明書」または本学所定用紙に、ゼミ等の指導教員、および日本語指導教員が証明するもの ※ 但し、日本の大学院を修了した者、または修了見込みの者は、提出を免除する。
(12) 受験票送付のための 返信用封筒	長型 3 号(12cm×23.5cm)封筒に、送付先の郵便番号・住所・氏名、「簡易書留」と記入した上、460 円分の切手を貼り付けて提出すること。
(13) 受験票および副票 [本学所定様式]	副票には写真を貼付すること。また、副票の裏面には「郵便振替払込金受領書」のコピーを貼付すること。(「Ⅲ. 入学検定料」を参照)

(出願上の注意)

1. 出願に際しては、事前に希望する指導教員の承諾を必要とします。研究計画書に希望する指導教員の署名・捺印を受けてから出願すること。
2. 出願書類の使用言語は、原則として日本語または英語とする。それ以外の言語で作成されたものは、日本語または英語の訳文を添付すること。
3. 出願書類のうち(2)(3)(4)の証明書については、原則として出身大学等が発行する原本を提出すること。ただし、各証明書が発行されない国の者は、コピーでも受け付けますが、大使館・公証役場等で原本と相違ない旨の証明書をつけること。
4. 出願書類等に不備のある場合は受け付けないので、必要事項に記入もれがないよう、十分に書類を確認してから出願すること。
5. 改姓等により、各種出願書類間で姓名が異なる場合は、戸籍抄本等の姓名変更に係る証明書を添付すること。
6. 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても許可を取り消すことがある。
7. 2025 年 3 月末時点において、出願時の資格要件を満たしていない者は、本試験に合格していても入学を許可しないことがある。
8. 一旦受理した出願書類は、修了証明書等の原本を除き、原則として返還しない。
9. 出願書類(1)～(13)の他に、適宜必要書類の提出を求めることがある。

Ⅲ. 入学検定料 35,000 円

(1) 入学検定料は、郵便振替(郵便局備え付けの用紙使用)とすること。

口座番号: 00860-8-017408 加入者名: (学)日本福祉大学

※ 通信欄には、「大学院福祉社会開発研究科社会福祉学専攻入学検定料」と明記すること。

※ 一旦受理した入学検定料は、原則として返還しない。

(2) 「郵便振替払込金受領書」のコピーを受験票・副票の裏面に貼付すること。

(3) 「郵便振替払込金受領書」をもって本学の領収書とかわるので大切に保管すること。

Ⅳ. 試験科目・時間割

(1) 試験科目: 論文、口述試験

(2) 試験日程・時間割:

日 程	時 間	試験科目
2025 年 2 月 8 日(土)	10:00~12:00	論 文
	13:00~15:00	口述試験

(3) 選抜方法: 選考は、出願書類(20 点)、論文(20 点)、口述試験 (20 点)を総合しておこないます。

◆障がいのある入学志願者との事前相談について

本学大学院に入学を志願される方で、障がいを有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性がある方は、出願前に必ず名古屋事務室に相談してください。

なお、この相談が、合否判定に影響することは一切関係ありません。

相談の時期: 出願締切の 1 ヶ月前

連 絡 先: 日本福祉大学 名古屋事務室

TEL (052) 242-3050 FAX (052) 242-3072

E-mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

Ⅴ. その他 (個人情報の取り扱い)

出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。

取得した個人情報は、日本福祉大学個人情報の保護ポリシーに基づき適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

Ⅵ. 出願手続・願書送付先

入学検定料 35,000 円を納入のうえ、市販の角形 2 号封筒(入りきらない場合は、別の封筒に一括封入)を使用して出願書類を一括封入し、「出願書類在中」と朱書きして、必ず「簡易書留」郵便にて送付すること(締切日当日消印有効)。

※別紙「出願用封筒宛先用紙」を使用することをお勧めします。

尚、窓口での出願受付はできません。

日本福祉大学 名古屋事務室 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL (052) 242-3050 FAX (052) 242-3072 E-mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

【研究テーマ名及び指導教員について】

希望する研究テーマ名および指導教員を下の表より選択し、出願前に当該教員の承諾を得た上で、以下の出願書類に記入してください。

■入学志願票

所定欄に希望する指導教員、研究テーマ名を記入してください。

■研究計画書

出願前に希望する指導教員の承諾を得て、署名・捺印を受けてください。

研究テーマ	指導教員
公的扶助・貧困・社会保障論	山田 壮志郎
障害問題	木全 和巳
地域福祉政策	小松 理佐子
社会老年学・高齢者福祉論	斉藤 雅茂
地域福祉論 地域を基盤としたソーシャルワーク	川島 ゆり子
高齢者福祉論	中島 民恵子
福祉住環境論	児玉 善郎
ジェンダーと社会福祉	末盛 慶
司法福祉論	湯原 悦子
精神保健福祉論	大谷 京子
ソーシャルワーク論	保正 友子
子ども家庭福祉論	野尻 紀恵

※ 研究テーマ、および指導教員は変更となる場合があります。

2025 年度 研究テーマ概要

[社会福祉理論・歴史・問題特別研究]

公的扶助・貧困・社会保障論	山田 壮志郎	本特別研究のねらいは、公的扶助や社会保障政策のあり方を考察することを目的とした博士論文の執筆に必要な研究方法や論文執筆技法を学ぶ点にある。社会保障は、貧困に象徴されるような社会的に生み出される生活困難について、それらを解決すべきであるという社会的合意に立脚しながら、保険や扶助といった政策技術を用いて解決を図ろうとするものである。したがって、本特別研究では、研究方法や論文執筆技法を学ぶと同時に、その前提として、社会保障や公的扶助が拠り所とする理念や価値、政策対象となる人々の生活実態や社会的背景、問題を解決するための政策技術や方法を包括的に理解することを目指す。
障害問題	木全 和巳	「障害」と関連する「社会的諸実践」の理論的研究は、実践の科学として、国際的にも、国内的にも、新しい展開を示しつつある。人種、性、宗教、財産、出生などによる「複合的又は加重的な形態の差別」を受けている当事者の生活問題に対する、現代のソーシャル・インクルージョンかつ人権発達保障論的アプローチへの展開である。そこには、「障害」概念や「自立」「自律」概念の検討、「人権」「ジェンダー」「セクシュアリティ」などの問題などが含まれる。こうした展開故に、現代日本の政治は、「権利条約」の具現化をはじめとする新たな障害者施策を制定するという課題などを顕在化させている。この特別研究では、こうした国内外の動向を機能障害のある人たちやその家族の生活実態に引きつけて、政策、理念、価値、方法などを実証的、歴史的、社会科学的に吟味することによって、「障害」問題の現代特質と「障害」福祉の課題を基本的に再構成する意義・必要性を明らかにしたい。

[社会福祉政策・計画論特別研究]

地域福祉政策	小松 理佐子	本特別研究では、地域福祉の理論と実践の間を媒介する領域である政策に焦点を当て、人口減少と少子・高齢化を背景に発生している諸課題の解決を図るための政策形成の方法論を取り扱う。一例をあげれば、地域福祉計画が「上位計画」に位置づけを変えたように、地域福祉政策は、社会福祉政策を形成する一分野から、社会福祉政策の総体を現すものへと性格を変えてきた。このように地域への期待が高まる一方で、東京をはじめとする一部の地域を除けば、加速する人口減少によって地域の担い手不足が深刻化している。地域の現状に即した実現可能な地域福祉システムの構築が求められている。以上のことから、本特別講義では、地域の実情に即した地域福祉システムを構築するための方法論を研究する。
社会老年学・高齢者福祉論	斉藤 雅茂	人口の高齢化に関わる諸問題への対応は地球規模の重要課題の一つである。本研究では社会老年学および高齢者福祉領域における問題群（貧困・剥奪・社会的排除、社会的孤立、健康格差、ソーシャル・キャピタル、地域共生など）および諸理論・研究手法・研究動向を学び、社会福祉・地域福祉の実践および政策立案に貢献できるエビデンスを提供する研究を行うことを目的とする。本演習を通じて、質的な情報の重要性も踏まえつつ、STATA もしくは SPSS 等の統計ソフトを用いた統計解析の基礎的なスキルを習得し、国際誌で通用する標準的な統計手法に基づく定量的・計量的なデータ解析を行う力を身につけることが期待できる。
地域福祉論 地域を基盤としたソーシャルワーク	川島 ゆり子	地域の中で制度の狭間に漏れ落ちてしまうような複合的な課題を抱え、孤立する人々の存在が社会的な課題として注目されてきた。この課題の解決に向けて、個別支援の相談支援体制をより総合的に展開していく必要性が生じる。また一方で、このような社会的な課題に対してセーフティネットとなり得る地域の中でのつながりを構築していくことも求められている。 本特別研究は、多角的なアプローチから地域福祉の推進を目指す。ミクロからの相談支援のアプローチ、メゾからの地域組織化・資源開発に向けたアプローチ、マクロからの政策・計画アプローチを連動させながら、地域を基盤としたソーシャルワークの展開を、実践・研究を往還しながら推進していくことをテーマとする。
高齢者福祉論	中島 民恵子	本特別研究では、高齢者の福祉的課題をめぐる実践・理論・政策を把握し、それらを実証的に分析する手法と論文執筆の技術を得ることを目的としている。高齢者の生活に関連する福祉的課題は、超高齢社会において複雑化している。医療・介護資源の制約、家族機能の低下、認知症高齢者や単身高齢者の増加等により生じる福祉的課題を、社会福祉学的観点から多角的に検討することが求められる。実証的な研究等を通して、実践を支える概念や理論の発展に貢献する能力を養うことが期待できる。また、諸外国の高齢者福祉制度の理解や比較可能な実証データを用いた国際比較を通して、取り上げる研究課題を相対的に捉える視点を養うことを目指す。

福祉住環境論	児玉 善郎	本研究では、子ども、高齢者、障害者をはじめ支援を必要とするすべての人が、地域で安心して住み続けられるようにする上で、生活の基盤となる福祉住環境(住居、施設、まちの環境等)に焦点をあて、現状の実態を解明するとともに、その問題・課題を克服する上での具体的方策について、空間的視点および制度・政策的視点から検討する。 支援を必要とする人々の生活を支える上では、サービスや援助が適切に提供されることが必要であるが、それらを有効に機能させる上では、生活の場となる住居、施設やまちの環境等を整えることを併せて検討することが重要となる。
ジェンダーと社会福祉	末盛 慶	本特別研究の目的は、家族生活、労働生活、ジェンダーをめぐる多様なテーマに関する理論的知識を得ること、そして学術研究に必要な研究方法および論文執筆の技法を学ぶことである。家庭と労働は社会を支える2大要素であり、社会福祉分野および少子化などの社会構造にも大きな影響を与える。現在、家庭生活も労働生活も変化の途上にあるが、こうした変化を社会学的およびジェンダーの視点で読み解き、今後の方向性を探求していく。 本特別研究により、①社会学およびジェンダー論など社会学的な視点、②論理学を基盤とした研究上必要とされるリテラシー、③質的量的双方に関する方法論的な知識、技術、態度を獲得することができる。
司法福祉論	湯原 悦子	本研究は司法を通じて解決を図ることが求められる問題群(刑事事件など)や司法を活用することが解決に役立つような問題群(家事事件など)に関する諸理論を学び、学術研究に必要な研究方法および論文執筆の技法を修得することを目的とする。司法福祉は法的決着がついてもなお残る人々の生きづらさ、時を変え、場所を変え、同じような問題が繰り返される事項について、福祉の視点から真の意味での解決、臨床的な解決のあり方を模索する学問である。本研究を通じて、司法と福祉双方の視点や価値を熟知し、司法福祉領域の研究と分析を行う力を身に付けることが期待できる。
精神保健福祉論	大谷 京子	本特別研究では、精神保健領域のソーシャルワークにかかわる理論と実践に関する多様なテーマを探究する方法と、博士論文作成の技法を習得することを目指す。特有の歴史を持つ日本の精神保健福祉領域における、社会福祉学研究とソーシャルワーク実践は質も量も十分とはいえない。それでも着々と理論的・方法論的研究も蓄積されてきており、卓越したソーシャルワーク実践が展開されている。日本の本領域の発展に貢献する研究が求められている。本特別研究では、①世界的な潮流と日本の現状の把握、②社会福祉学研究の視点の習得、③研究方法論の習得ができる。
ソーシャルワーク論	保正 友子	本特別研究では、ソーシャルワークに関する諸理論、とりわけソーシャルワークの人材育成について学び、時代のなかで要請されることを、価値・知識・技術面から探求し、博士論文作成に必要な研究能力の向上を目的とする。 養成校時代から現場実践の過程で求められる実践能力とはどのようなことか、ソーシャルワーカーにはどのようなキャリア形成が求められるのか、実践能力向上やキャリア形成を阻む要因と解決法、ソーシャルワーカーが行うマネジメントとは何かという視点から研究を深めていく。 本特別研究により、①ソーシャルワークとソーシャルワーカーの人材養成のあり方を探究する視点、②社会福祉学を基盤とした研究的なものの見方・考え方、③社会福祉学の方法論の修得ができる。
子ども家庭福祉論	野尻 紀恵	近年、日本においては少子化・核家族化・都市化・情報化・国際化など社会の大きな変化を受け、人々の価値観や生活様式が多様化している。一方、人間関係の希薄化、地域コミュニティの衰退、経済性や効率性の過重視、大人優先社会などの状況がある。このような社会で育つ子どもを巡る環境、家庭、学校は複雑な様相を見せ、子どもや子育て世帯の孤立が指摘されている。本特別研究では、子どもを真ん中において社会の困難を見つめ、これらの状況を整理し、子どもを取り巻く環境の実態を解明することに取り組む。さらに、子どもを育てる家庭・地域、子どもが多くの時間を過ごす学校等での子ども家庭ソーシャルワークによる支援の有様について、ミクロ・メゾ・マクロにおける様々な視点から実証的に検証することを目指す。

【合格発表・入学手續について】

I. 合格発表

2025 年 2 月 15 日(土) 午前 10 時

名古屋キャンパスの掲示板および、本学ホームページに、合格者の受験番号を掲示します。また、郵送で可否通知書を郵送します。なお、合格者には「入学手續書類」を同封します。電話による問い合わせには一切応じません。

II. 入学手續期間・内容

合格者は、合格通知に同封する入学手續要領に従って手續を行ってください。

手續期間	2025 年 2 月 17 日(月)～ 2 月 28 日(金)
手續内容	①入学手續書類の提出 ②入学金の納付 ③初年度授業料・施設維持費の半期分、または 1 年分の納付 ④学校教育研究災害傷害保険料の納付

※ 学費は最終日振込可、書類は最終日消印有効です。

〔注意〕 大学院を修了見込で出願した場合は、修了後速やかに修了証明書を、
名古屋事務室まで提出してください。

〔提出期限：2025 年 3 月 31 日(月)〕

III. 学費

(2025 年度予定)

	入学金	授業料	施設維持費	学校教育研究 災害傷害保険	合 計
金 額	¥200,000	¥810,000	¥140,000	¥2,600	¥1,152,600

1. 入学金について、本学博士前期課程・修士課程からの進学者は免除します。
2. 外国人留学生には学費減免制度（授業料について、1 年生は 50%、2 年生以上は 30%相当額の免除。
但し 3 年間を限度とする）があります。但し在留資格、年間収入等で制限がありますのでご注意ください。
3. 授業料、施設維持費は分割納入が可能です。
4. 一旦納入された入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
入学手續を完了した後に入学を辞退されるときは、2025 年 3 月 31 日(月)〈必着〉までに『入学辞退願』の提出があった場合に限り、入学金を除く学費を返還します。



日本福祉大学大学院

名古屋事務室

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL(052)242-3050 FAX(052)242-3072

E-Mail : swjim@ml.n-fukushi.ac.jp